

第26回 鹿児島大学 奄美群島 島めぐり講演会

会場 奄美市アマホームPLAZA 大多目的室

日時 2025年10月4日(土)午後4時15分～5時45分

戦後80年の今年、奄美に数多く残る戦争遺跡について、その専門家が講演いたします。多くの方のご参加をお願いいたします。

奄美群島の戦争を考える —戦争遺跡の活用と展開—

石田智子（法文学部准教授）

鹿児島県は太平洋戦争末期に本土防衛の最前線として各種の軍事施設が数多く構築された場所であり、特に奄美群島には多数の戦争遺跡が非常に良好な状態で残っています。戦争遺跡は当時の状況を物語る重要な実物資料であり、調査研究や保護、平和教育や観光における活用が各地域で進められています。地域の文化遺産として戦争遺跡に新たな価値を見出し、記憶や記録を未来につなげる取り組みについてお話しします。戦後80年を経た現在、私たちに何ができるのか一緒に考えてみましょう。



手安弾薬本庫跡



聞き取り調査

参加費無料で、**定員は90名**です。定員超過の場合には事前申し込みの方だけ参加できますので、なるべく事前にお申し込みください。

問い合わせ・申し込み先：氏名とメールアドレスをお伝えください

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター Tel 099-285-7394

メール shimaken@cpi.kagoshima-u.ac.jp

主催：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター 後援：奄美市 奄美群島広域事務組合